

② 社会で支える健康づくり

ア 市町村健康づくり技術支援事業

地域における健康づくりの社会環境を整備するためには、日ごろから県民一人ひとりが自主的、積極的に健康づくりに取り組むとともに、個人的・環境的要因により健康づくりが阻害されている者に対して、行政・企業・関係機関等が連携を図り、社会全体で個人の健康を守り・支えることが重要となります。

本県では、健康づくりの拠点施設であるあいち健康プラザで培われてきた、健康づくりに関する知識・技術を活用し、市町村の健康づくりを支援する「市町村健康づくり技術支援事業」を実施しています。

平成 25 年度には、希望のあった 8 市町に対し、それぞれの現状や要望にあわせ、健康づくり事業や健康増進計画についての評価や新たな計画の策定、人材育成や健康関連施設の有効活用などに対して助言・指導などの支援を行いました。（11 頁の表参照）

特に、健康増進計画は今後市町村が健康づくりを推進する上で極めて重要なものですが、市町村においては、健康課題をどのように明確にして今後の取組に結び付けていくのかが課題となっています。

本事業では、どのような健康関連データ（高齢化率、メタボ該当者率、健診受診率など）を分析・評価すれば、各市町の性年代・地域・職業など対象別の課題や特徴が「見える化」できるのか、また、「見える化」された課題や特徴を今後の施策展開にどのように活用していくのかなどについて技術的な助言・指導を行いました。

さらに、支援市町の計画策定関連会議等に参加し、部局横断的な取組の必要性を訴えるなどして意識改革を促しました。

こうした支援により、参加した市町からは「自らの地域の健康課題と取り組むべき重点項目が明らかになった」、「全庁的な取組への理解がなされた」などの意見が寄せられており、今後、各地域の特性を踏まえた健康づくり対策の推進が期待されています。

<市町村健康づくり技術支援の概要>

○技術支援のメニュー

メニュー	内 容
A：新規導入型	新たに健康増進施設を建設又は改修し、健康づくり技術を導入する市町村に対する支援
B：リニューアル型	既存の健康増進施設に新たな機器や健康づくりプログラムを導入する市町村に対する支援
C：政策立案型	市町村の健康増進施策や健康増進計画の評価・策定に対する助言・指導、データ分析手法を含めた地域診断に対する支援

○平成 25 年度市町村支援実績（8 市町）

市町村	メニュー	主 な 支 援 内 容
小牧市	B	健康づくり事業への参加者促進、事後フォローアップの手法に関する技術支援
知立市	B	食生活改善推進員の活動内容の充実化及び他ボランティアとの連携に関する技術支援
大治町	B	保健推進員の知識・技術のスキルアップ及び活動内容の見直しに関する技術支援
武豊町	B	特定保健指導の効果的な実施及び参加率の改善に関する技術支援
愛西市	C	糖尿病予防対策事業における課題分析及び分析結果に基づいた効果的な事業展開に関する技術支援
稲沢市	C	健康増進計画の評価・分析手法及び次期計画の策定に関する技術支援
碧南市	C	健康増進計画の評価・分析手法及び次期計画の策定に関する技術支援
扶桑町	C	健康増進計画の評価・分析手法及び次期計画の策定に関する技術支援



イ 学校教育支援事業（出前講座）

学童期からこころと身体の健康的な生活習慣の基礎づくりを図るために、あいち健康プラザにおいて、愛知県の小中学生、教員、保護者を対象に学校教育支援事業（出前講座）を実施しました。

出前講座は、あいち健康プラザが作成してきた「運動」「栄養」「睡眠」「生活習慣」「こころ」の5つのプログラムの中から、各学校の要望に応じてテーマを選定して実施しています。

このうち「こころの健康教育」は、学校からの要望を受けて、平成24年度から新しくプログラムを開発したものです。

平成25年度は、県内全公立小中学校から希望を募り、51校、14,407人に出前講座を実施しました。

厚生労働省では、健康増進・生活習慣病予防への貢献に資する優れた啓発・取組活動の奨励・普及を図ることを目的として「健康寿命を伸ばそう！アワード」を創設していますが、本事業は、平成25年度に「第2回健康寿命をのばそう！アワード」において、団体部門厚生労働省健康局長優良賞を受賞しました。

<平成25年度学校教育支援事業実施状況>

区分	実施校数	対象人数
小学校	38	9,074
中学校	13	5,333
合計	51	14,407

<平成25年度学校教育支援事業テーマ別実施状況>

運動	栄養	睡眠	生活習慣	こころ	計
13	9	11	4	14	51

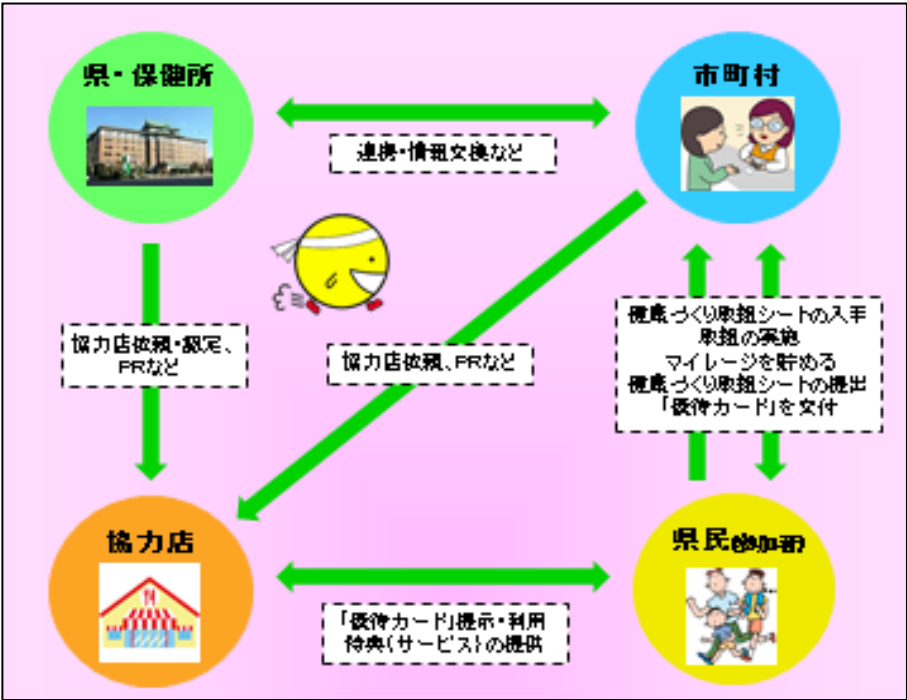
取組を踏まえた今後の方向性

「健康日本21 あいち新計画」では、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を図り、「健康長寿あいちの実現」を目指すこととしており、そのためには県民一人ひとりが、疾病に関する知識を深め正しい生活習慣を実践するなど、生涯を通じた健康づくりに取り組むことが不可欠です。

このため県では、平成26年度から県民の主体的な健康づくりを促進するための新たな仕組みづくりとして「あいち健康マイレージ事業」を企業等の協力を得て市町村と協働で開始します。

今後も本事業を始め、様々な取組を通じて社会全体で個人の健康を支え、守るための仕組みをつくるとともに、本県の健康づくりの中核施設である「あいち健康プラザ」を活用し、行政、関係機関、関係団体とも連携を図りながら、全県的な健康づくり運動を推進していきます。

<あいち健康マイレージ事業>



- ① マイレージ事業への参加者は、実施市町村で健康づくり取組シートを受け取ります。
- ② 実施市町村が決定した「健康づくりメニュー」を実践し、マイレージ(ポイント)を貯めます。
- ③ 健康づくりに一定期間取組み、一定以上のマイレージを獲得したら市町村に取組シートを提出します。
- ④ 市町村から「あいち健康づくり応援カード! ~MyCa~(まいか)」(優待カード)が交付されます。
- ⑤ 協力店で「優待カード」を提示すると、様々な特典(サービス)が受けられます。